

やさしさいっぱい 元気いっぱい やる気いっぱい



鳥栖っ子

学校合言葉

～ わ を つ く ろ う ～

令和6年10月23日(水)

鳥栖市立 鳥栖小学校

文責 校長 古賀 泰伸

“手と手をつなぎ 心をつなぎ わ になって” みんなで助け合う みんなの笑顔のために

熱戦、熱戦、大熱戦!!



10月20日(日)、前日の雨のため予定より1日遅れで開催した鳥栖小学校運動会。少々風が強く、肌寒さを感じるほどでしたが、運動会をするにはちょうどよい気温。(私は、テントから見守るだけでしたので、少々肌寒さを感じていましたが…)

やっぱり、子どもたちの一生懸命な表情は見ていて気持ちのよいものですね。徒競走やリレー、団体競技にダンス。どれをとっても、表情豊かな子どもたちに胸が熱くなりました。特に、リレー他団体競技では、最後の最後まで「諦めないぞ」といわんばかりの表情で駆け抜ける子どもや、緊張のためかいつもの調子が出ずに悔しそうな表情を浮かべる子ども。どの表情も一生懸命に頑張っているからこそ出てくる表情。

優勝があるということは、勝ち負けがあるということですが、運動会では、優勝を目指して力を合わせる、自分のもてる力を十分に発揮することが大切と考えています。そういう意味からも、今年の運動会も、子どもたちが輝いたすばらしい運動会になったのではないかと考えています。

練習期間から当日まで子どもたちを支えていただいた保護者のみなさん、教育活動に対してご理解とご協力いただいた地域の方々に、深く感謝です。

「頑張ってください!」の一言

運動会の前日に雨が降り、運動会当日も強い風。運動会当日には、イチョウの木の下にはたくさんの銀杏の実。少しでも子どもたちが踏まなくてよいようにと職員で掃き掃除。ひとまず木のそばまではわいて寄せていましたが、22日(火)の朝には、たくさんの銀杏の実が…。

私が、朝のあいさつを兼ねて南側の青門にあるイチョウの木の下に落ちた実を拾い集めていた時のことです。いつものように子どもたちが「おはようございます。」とあいさつをしながら通り過ぎていく子どもの中に、「校長先生、銀杏の実、くさくないんですか?」と問いかけてくる子どもが。「ちょっとくさいよ。」と答えると、「え〜っ。わたしたくさんくさいよ!」といった後に、「校長先生、頑張ってください!」と笑顔で励ましてくれました。私は、この一言に力をもらい、かがんで作業していたことで少々腰が痛かったのですが、一輪車いっぱい銀杏の実を拾い集めることができました。

私にとって心温まる一言。心優しい子どもが育っていることに喜びを感じた一場面でした。

やっぱり、「体験」はすばらしい!

すでにお子さんから聞かれている保護者もいらっしゃるかと思いますが、現在、4年生では総合的な学習の中で「福祉」について学習しています。

これまでには、認知症や車椅子体験、施設での交流などに取り組んで参りました。施設での交流では、入居させている方々と交流することで、高齢者に対する理解や、交流する楽しさについて学習ができています。今後も、佐賀錦づくりや九電グループによる出前授業が予定されています。「体験」を通して実のある学習になることでしょう。